

学修状況調査（2019年度） 分析結果

学習支援センター

2020年4月21日

本資料は、2019年12月16日から2020年1月28日にかけて学習支援センターが実施した「学修状況・満足度調査」に関して、学修状況に関する部分の回答内容を分析したものである。同様の調査は、抽出形式で2013年度前期から、悉皆形式で2017年度前期から年2回ずつ行ってきた。しかしながら、昨今は学生向けの別調査やアンケートの機会も増えてきたことも踏まえ、昨年度は前期に学修時間・学修行動調査、後期に学修時間・満足度調査を実施し、さらに今年度は学修状況と満足度を年度末にまとめて調査した。

今回の調査は、本学が学生に提供しているWebサービスを用いて全学生を対象として実施した。実施に際しては、これまでと同様、学習支援センターに在籍する教務委員の方々を中心にそれぞれの学部の取りまとめを行っていただいた。

回答状況を表1に示す。社会学部4年生を除く全学部・学年より回答が得られた。全在籍者数に対する回答率は45.9%と、用紙記入方式で実施した前々回の61.7%よりも少ないものの、前回の27.6%より18.3ポイントも高い結果となった。特に総合経営学部では100名近くの増加が見られた。前回の減少理由として、①調査方法の紙による回答からWebサービスへの変更、②調査方法の変更にもない回答者情報が回答データに含まれるようになった、及び③その場で用紙に記入させないことで回答しなくても分かりづらい、という3点を挙げた。①や②に関して学生がWebサービスでの調査方法に慣れてきたことと教職員向けに調査の趣旨などの周知を強化したことが、回答率向上につながったと考えられる。なお、4年次以降は回答数が少ない傾向が続いているため、次回に向けて対応を検討したい。

表1 回答状況（学部・学年別）

	総合経営学部	社会学部	ソフトウェア 情報学部	薬学部	学年計
1年生	95名	57名	46名	42名	240名
2年生	40名	24名	37名	24名	125名
3年生	67名	9名	27名	24名	127名
4年生	24名	0名	5名	5名	34名
5年生				3名	3名
6年生				2名	2名
学部計	226名	90名	115名	100名	531名

今回の調査項目は、①学修時間に関する質問と、②本学の学修達成度評価ルーブリックに関する質問の二つである。質問項目を、この資料の最後に載せる。①はこれまでの調査と同じであるが、②は今回初めて設けた項目である。なお、1年前の学修調査では「授業に臨む態度」や「ディプロマ・ポリシーに照

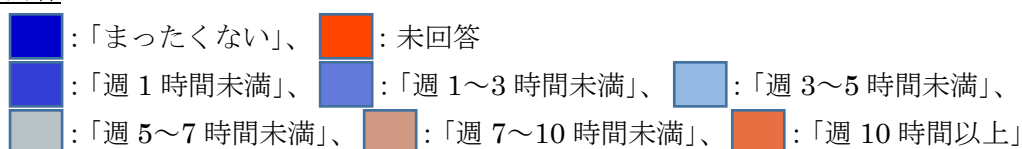
らした自身の意欲・態度」を問うていたが、このうち後者を②の質問に置き換えた。

以降、それぞれの質問に対して、前期調査との比較も含めた分析結果を述べる。

Q1. 2019年度の「典型的な一週間あたりの時間の使い方」について、以下のそれぞれの活動にかけている時間を選択肢から選んでください。

この質問では、授業時間外学修の状況を中心に、一週間あたりの時間の使い方を尋ねた。図中の配色は、時間が少ない順にそれぞれ次のようになっている。Q1では、回答状況を示す図を、「ゼロ（未回答を含む）の者」と「実施している者」の回答の二つに分けて示す。

回答内容



ゼミ活動や研究室での研究活動にかかる時間は、これまでの調査と同様に総合経営学部とソフトウェア情報学部が多く、薬学部は少ない結果となった（図1）。前回調査と比べると、総合経営学部と社会学部で「実施している者」が数ポイント程度高くなっている。薬学部の「実施している者」の割合は前回調査よりも10ポイント以上低くなっているが、一方で高学年になるほど割合は上がっており、薬学部4年生以上の回答割合が低いことが要因と考えられる。

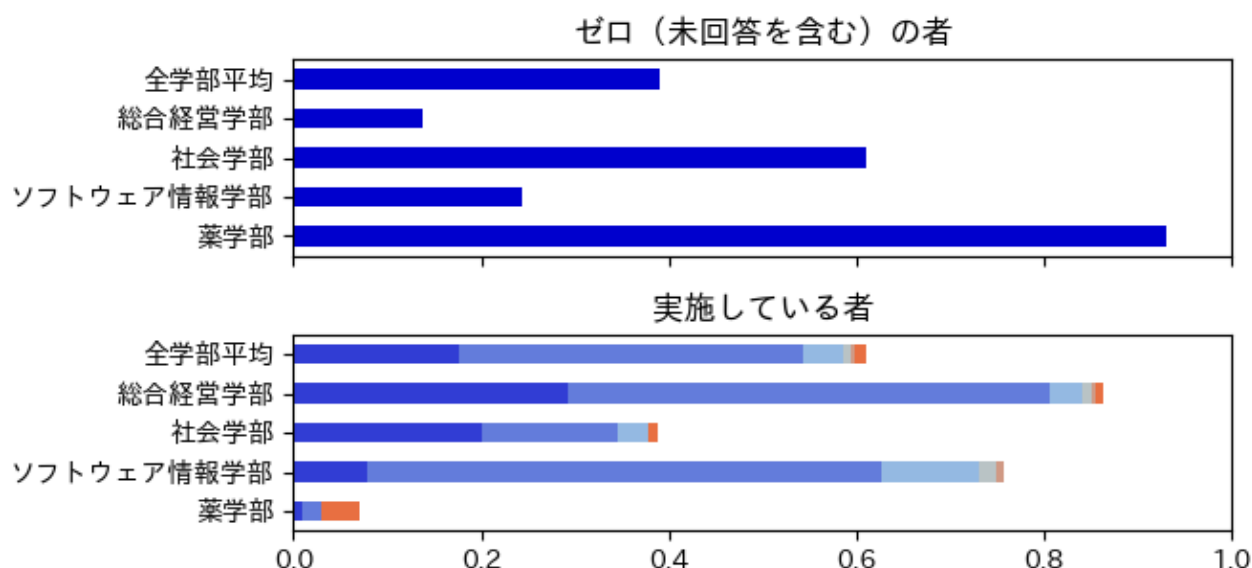


図1 「Q1(ア) ゼミ活動、研究室での研究活動」の回答分布

授業の予習と復習に書ける時間は、図2や図3のような状況であった。予習よりも復習にかける時間が多い傾向が、今回も見られた。また、薬学部においてほぼすべての学生が日常的に復習を行っており、週に10時間以上行っている学生が12.0%と、かけている時間が長い学生も一定数居ることも、これまでと同様である。

全体的な「実施している者」の割合は、予習が72.50%、復習が85.50%であった。前回調査と比べると、社会学部の予習で下がった以外は、予習・復習とも数ポイント高くなった。

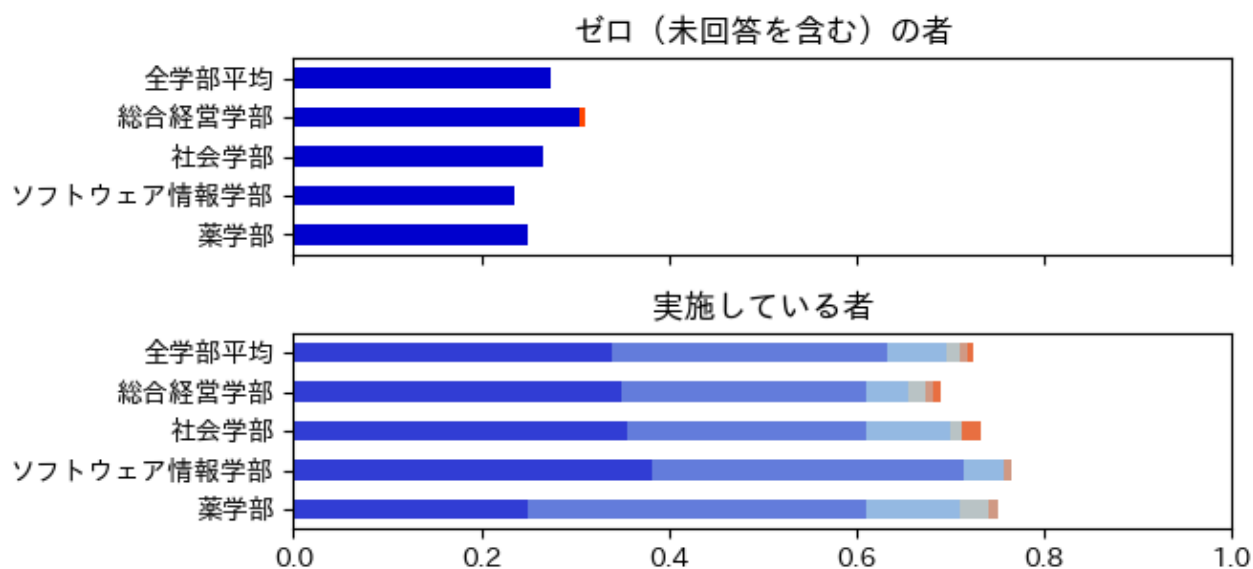


図2 「Q1(イ) 授業の予習」の回答分布

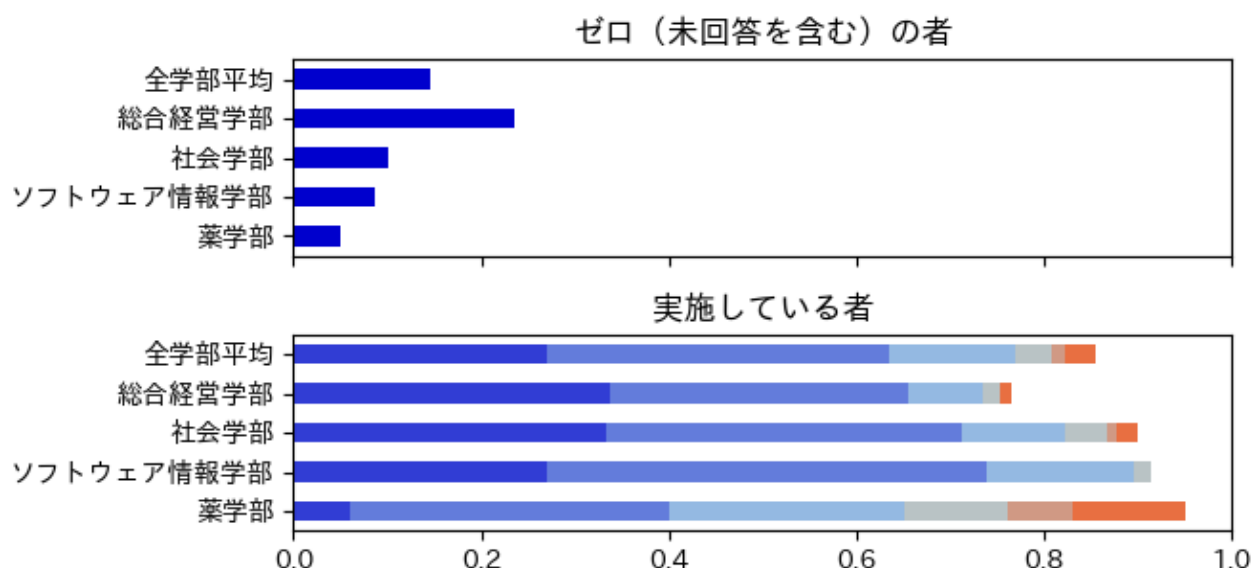


図3 「Q1(ウ) 授業の復習（宿題や課題を行う時間を含める）」の回答分布

予習や復習と別の資格取得のためなどの自主的な勉強時間は図4のようになった。全体では、「実施している」割合が薬学部では少ない。ただし、薬学部では10時間以上の時間をかけている学生が他学部よりも多い。

これまでの調査と比較すると、全学の「実施している」割合は57.44%で、3回前が63.0%、前々回が56.3%、そして前回が61.47%と概ね6割前後である。また、薬学部の「実施している」割合が少なく、かつその中で長時間自主的な勉強を行っている率が高めという傾向も過去数年間は一貫して見られる。

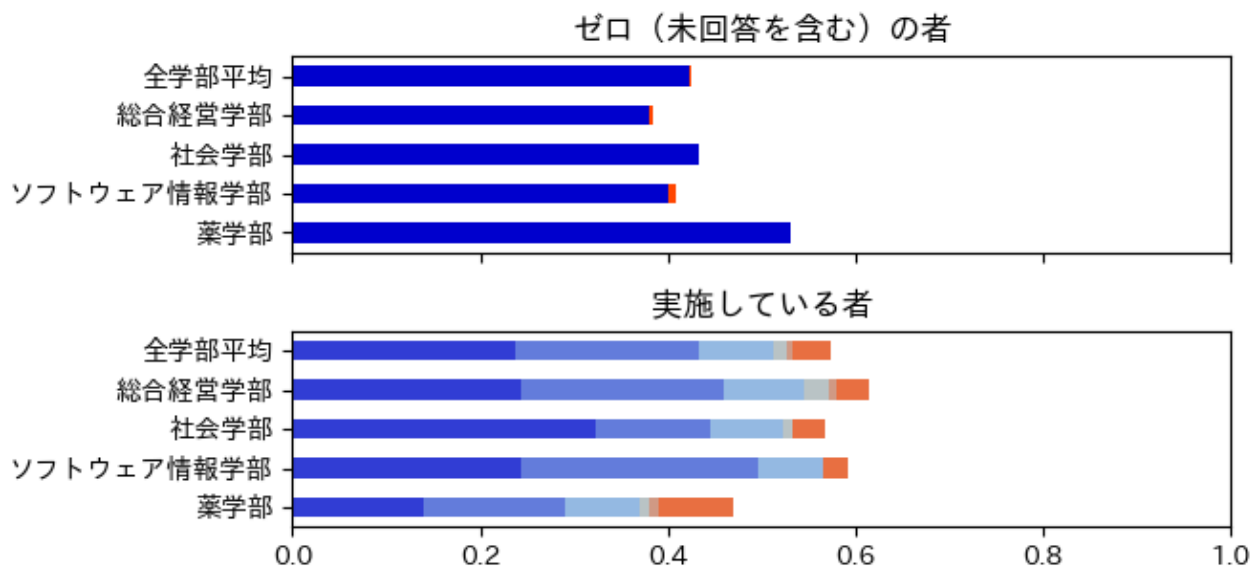


図4 「Q1(エ) 資格取得のためなどの自主的な勉強」の回答分布

部活動・サークル活動にかかる時間は、総合経営学部がもっとも多く、次いで社会学部、ソフトウェア情報学部の順となった。このうち週に5時間以上かけている割合は、総合経営学部：47.79%、社会学部：17.78%、ソフトウェア情報学部：10.43%、薬学部：7.00%であった。これらの結果を前回調査と比べると、総合経営学部と薬学部で数ポイント増、社会学部とソフトウェア情報学部で数ポイント減となった。また学年別では、前回までは学年進行にともない割合が減じていたが、今回は学年による差はほぼ見られなかった。

大学外でのアルバイトや仕事にかかる時間は、大学全体では前回と同じく半数程度の学生が「実施している」と回答した。このうち週5時間以上行っている割合は、総合経営学部：48.67%、社会学部：42.22%、ソフトウェア情報学部：47.83%、薬学部：27.00%であった。前々回と前回との間で社会学部と薬学部で見られたような10ポイント以上の増加は見られなかったが、薬学部以外の3学部では前回よりも数ポイント増加している。学部別・学年別どちらでも、週10時間以上実施している割合が、他の選択肢よりも多く、薬学部では16.00%、他3学部では3割以上を占めている。また4年生で5時間以上10時間未満の割合が大きく増えている。

一週間あたりの授業数は、前々回までは実数、前回は概数を回答してもらい基礎統計量を調べていたが、今回は0から17以上までの6段階の選択肢から回答させるよう変更した。学部別では、薬学部で

「13～16」と「17以上」の割合が多い。また、全学部で「9～12」の回答割合が高い結果となった（最小：総合経営学部 40.27%、最大：社会学部 58.89%）。一方、学年進行にともない受講科目数は減少傾向が見られるが、3年次と4年次では「17以上」も増加しており、一部の学生が高学年で多くの科目を履修している様子が見てとれる。

Q2. 別紙「青森大学学修達成度評価ルーブリック」を参照しながら、以下のそれぞれについて、自身が達成できていると思う水準を選択肢から選んでください。

本学では2017年度入学生（2019年度3年生）より「青森大学学修達成度評価ルーブリック」の4分類11項目に沿った学修状況の把握を行っている。なお、各項目では0～4の五つのレベルを設けている。このことを踏まえ、今回より11項目の到達度に関する自己評価の状況を調べることにした。

学部別にまとめた結果を表2にまとめる。各列の学部（一部）は略記した。各欄の数値は平均値（標準偏差）である。

表2 Q2の平均値・標準偏差（学部別）

	全学	総経	社会	ソ情	薬
自主的に学ぶ力	1.99 (0.99)	2.15 (1.02)	1.97 (0.95)	1.79 (0.88)	1.91 (1.00)
学修を継続する力	2.07 (1.05)	2.21 (1.02)	2.06 (0.96)	1.82 (1.04)	2.08 (1.13)
信頼を築く力	2.36 (1.14)	2.64 (1.07)	2.47 (1.04)	1.95 (1.18)	2.11 (1.16)
協働する力	2.45 (1.12)	2.69 (1.07)	2.71 (1.01)	2.03 (1.10)	2.18 (1.16)
表現する力	2.37 (1.10)	2.49 (1.12)	2.36 (0.95)	2.20 (1.17)	2.31 (1.10)
課題を発見する力	2.13 (1.05)	2.38 (1.10)	2.19 (0.89)	1.89 (0.95)	1.80 (1.05)
計画を策定する力	2.18 (1.09)	2.45 (1.03)	2.18 (0.99)	1.80 (1.10)	2.00 (1.12)
目標に向けて成し遂げる力	2.29 (1.10)	2.56 (1.00)	2.48 (1.07)	1.85 (1.17)	2.04 (1.07)
基礎的知識・技能の理解	2.04 (0.99)	2.34 (0.93)	2.10 (0.87)	1.66 (0.95)	1.78 (1.04)
知識・技能の修得	2.06 (1.00)	2.31 (1.00)	2.13 (0.88)	1.73 (0.95)	1.83 (1.02)
知識・技能の活用	2.04 (1.02)	2.32 (0.99)	2.12 (0.92)	1.65 (0.96)	1.78 (1.04)

全体として、平均値は1.99～2.45、標準偏差は1前後であった。学部別では、総合経営学部が全項目で全学平均より大きく、逆にソフトウェア情報学部が全項目で小さい結果となった。また、薬学部も「学修を継続する力」が僅差で全学平均よりも大きい他は、いずれの項目で全学平均を下回った。

また項目別では「人とつながる力」に配置している「信頼を築く力」・「協働する力」・「表現する力」の平均値が大きく、「生涯をかけて学び続ける力」に配置した「自主的に学ぶ力」・「学修を継続する力」と「専門的知識・技能を活用する力」に配置した「基礎的知識・技能の理解」・「知識・技能の修得」・「知識・技能の活用」が小さい。ただし、上記ルーブリックでは各項目のレベルをそろえている訳ではないため、実際に力を有している（自己評価）か、あるいは項目ごとのレベル設定に元々差があるかのどちらであるかは、この結果からは判断できない。

次に、学年進行にともなう変化の様子を確認するため、学年別の結果を表3にまとめた。なお、薬学部5年生と6年生は回答数が少なすぎるため、この表には含めていない。

表3 Q2の平均値・標準偏差(学年別)

	1年生	2年生	3年生	4年生
自主的に学ぶ力	1.82 (0.98)	1.96 (0.99)	2.27 (0.92)	2.21 (1.05)
学修を継続する力	1.94 (1.00)	1.99 (1.12)	2.33 (1.00)	2.38 (1.04)
信頼を築く力	2.28 (1.14)	2.35 (1.19)	2.51 (1.08)	2.52 (1.18)
協働する力	2.34 (1.11)	2.28 (1.17)	2.69 (1.07)	2.58 (1.12)
表現する力	2.27 (1.08)	2.40 (1.13)	2.47 (1.09)	2.55 (1.23)
課題を発見する力	2.03 (1.04)	2.08 (1.06)	2.31 (1.07)	2.36 (1.03)
計画を策定する力	1.99 (1.04)	2.18 (1.05)	2.44 (1.13)	2.50 (1.14)
目標に向けて成し遂げる力	2.19 (1.09)	2.16 (1.17)	2.54 (1.03)	2.60 (1.03)
基礎的知識・技能の理解	1.96 (0.95)	1.86 (1.05)	2.32 (0.95)	2.22 (0.91)
知識・技能の修得	1.97 (1.00)	1.96 (1.04)	2.28 (0.94)	2.19 (1.03)
知識・技能の活用	1.91 (0.98)	2.00 (1.04)	2.25 (1.03)	2.28 (0.99)

青字は一つ前の学年よりも平均値が大きくなったところであり、赤字は逆に小さくなったところである。差は僅かであり自己評価であるため客観性も担保できるものではないため比較する意味は薄いかもしれないが、全体的に学年進行にともない平均値は増加している。とくに2年生と3年生の間ですべての項目で増加しており、増分も大きい。

各項目間の関係を調べたところ、「専門的知識・技能を活用する力」に含まれる「基礎的知識・技能の理解」・「知識・技能の修得」・「知識・技能の活用」のそれぞれの間で0.74から0.84と高い相関が見られた。この他に相関が見られたのは、「自主的に学ぶ力」と「学修を継続する力」の0.79、「課題を発見する力」と「計画を策定する力」の0.77、「協働する力」と「表現する力」の0.75であり、いずれも同じ分類に含まれる項目であった。

分類が異なる項目間で相関が見られたのは、「自分自身を見据え、確かめる力」内の項目と「専門的知識・技能を活用する力」内の項目であった。なお、すべての項目間でも相関がもっとも低かったのは0.56（「自主的に学ぶ力」と「信頼を築く力」）であった。

Q2は今回初めて問うたものであり、来年度以降も継続調査することによって表2や表3の結果が個人差あるいは主観的なものであるかそうでないかが分かってくると思われる。

2019年度「学修状況・満足度調査」(学修状況の部分)

Q1. 2019年度の「典型的な一週間あたりの時間の使い方」について、以下のそれぞれの活動にかけている時間を選択肢から選んでください。

- (ア) ゼミ・研究室での活動
- (イ) 授業の予習
- (ウ) 授業の復習(宿題や課題を行う時間を含める)
- (エ) 資格取得のためなどの自主的な勉強
- (オ) 部・サークル活動
- (カ) 大学外でのアルバイトや仕事
- (キ) 一週間あたりの授業数(数字を選んでください)

Q1(ア)～(カ)の選択肢

- ◇ まったくない
- ◇ 週1時間未満
- ◇ 週1～3時間未満
- ◇ 週3～5時間未満
- ◇ 週5～7時間未満
- ◇ 週7～10時間未満
- ◇ 週10時間以上

Q1(キ)の選択肢

- ◇ 0
- ◇ 1～4
- ◇ 5～8
- ◇ 9～12
- ◇ 13～16
- ◇ 17以上

Q2. 別紙「青森大学学修達成度評価ルーブリック」を参照しながら、以下のそれぞれについて、自身が達成できていると思う水準を選択肢から選んでください。

- (ア) 生涯をかけて学び続ける力「自主的に学ぶ力」
- (イ) 生涯をかけて学び続ける力「学修を継続する力」
- (ウ) 人とつながる力「信頼を築く力」
- (エ) 人とつながる力「協働する力」
- (オ) 人とつながる力「表現する力」
- (カ) 自分自身を見据え、確かめる力「課題を発見する力」

- (キ) 自分自身を見据え、確かめる力「計画を策定する力」
- (ク) 自分自身を見据え、確かめる力「目標に向けて成し遂げる力」
- (ケ) 専門的知識・技能を活用する力「基礎的知識・技能の理解」
- (コ) 専門的知識・技能を活用する力「知識・技能の修得」
- (サ) 専門的知識・技能を活用する力「知識・技能の活用」